

レンズの要らない顕微鏡を使って 宇宙バイオ実験してみませんか？

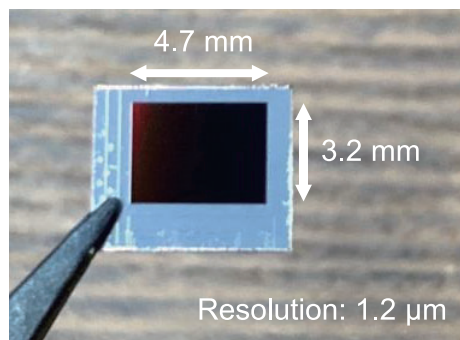
IDDKでは宇宙バイオ実験の実現可能性の検討について、 無料相談を受付しております！！

マイクロイメージングデバイス（MID）は、対物レンズの要らない半導体センサーをベースにした革新的な顕微観察技術で、センサーチップ上の受光素子（フォトダイオード）の配置の細かさで観察対象物を直接顕微観察できます。

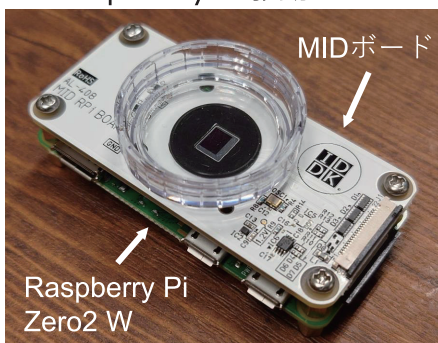
MIDの超軽量・コンパクトな特性を活かしたわずか1ユニット（10センチ立方）程度のフルオートバイオ実験ユニットを組上げることが可能で、地上と同じ1気圧に保つ与圧筐体に入れることで、真空の宇宙空間でも実験ができます。ユーザーニーズに対応した様々なオプションの開発も進んでいます。

IDDKは世界各国の複数の人工衛星パートナーと提携しており、その人工衛星ペイロードを利用することで、国際宇宙ステーションと同等の微小重力、宇宙放射線暴露の実験環境を提供するプラットフォームを構築しています。

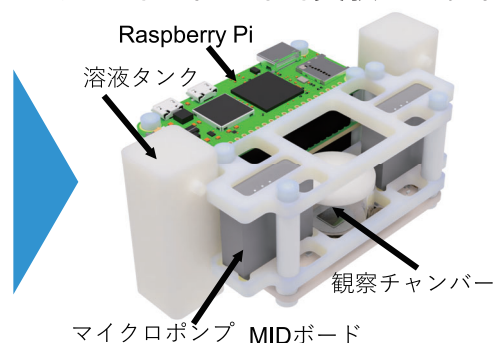
MIDチップ



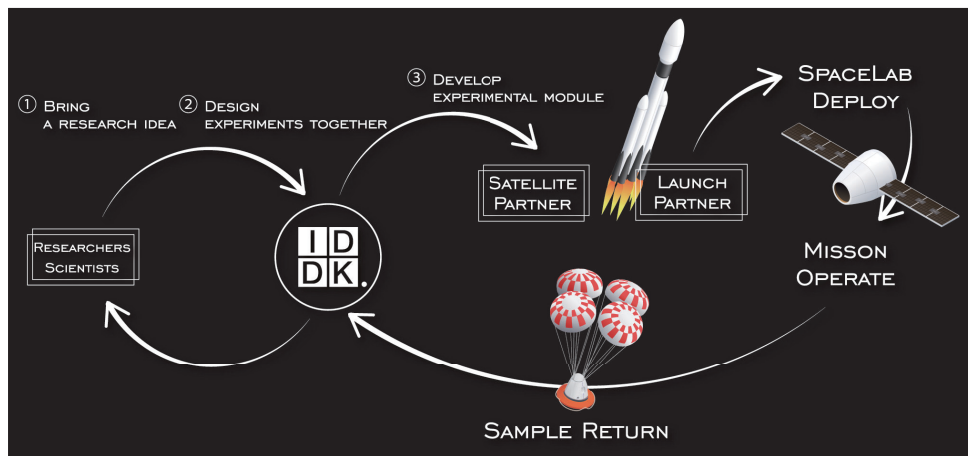
Raspberry Pi駆動型MID



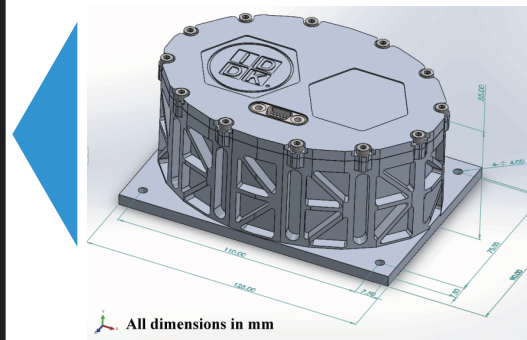
フルオートバイオ実験ユニット



宇宙バイオ実験プラットフォーム 概要図



人工衛星搭載用与圧筐体



2024年 実証機打ち上げ、2025年 サービス開始



株式会社IDDK

お問い合わせ : iddk.sales@iddk.co.jp

